

氷見市長
林 正之 殿

令和2年4月1日

熊無自治会長
丸山志郎
お休み処熊無指定管理者
内毅



要望書

[お休み処熊無・テントの劣化破損対策要望]

「お休み処熊無」では氷見市田園漁村空間博物館施設条例に基づき、農山漁村地域の振興及び農山漁村と都市との地域間交流の促進に資するための、活動や施設の維持管理を行っておりますが、設営から10年以上が経過しており、問題が発生しております。

1. 問題点

「お休み処熊無」建屋に隣接して客の休憩や氷見地元産品の展示即売場として使っていたテント（3梁）が劣化破損しております。

現在は緊急対応措置として波板で仕切って有りますが、「お休み処熊無」の機能と景観の点で不適切な状態です。

2. 対策、要望事項

現状放置では地域間交流の促進には負となりますので以下対策の選択実施を要望します。

対策案①：劣化に対応出来る新たな設備を設営する。

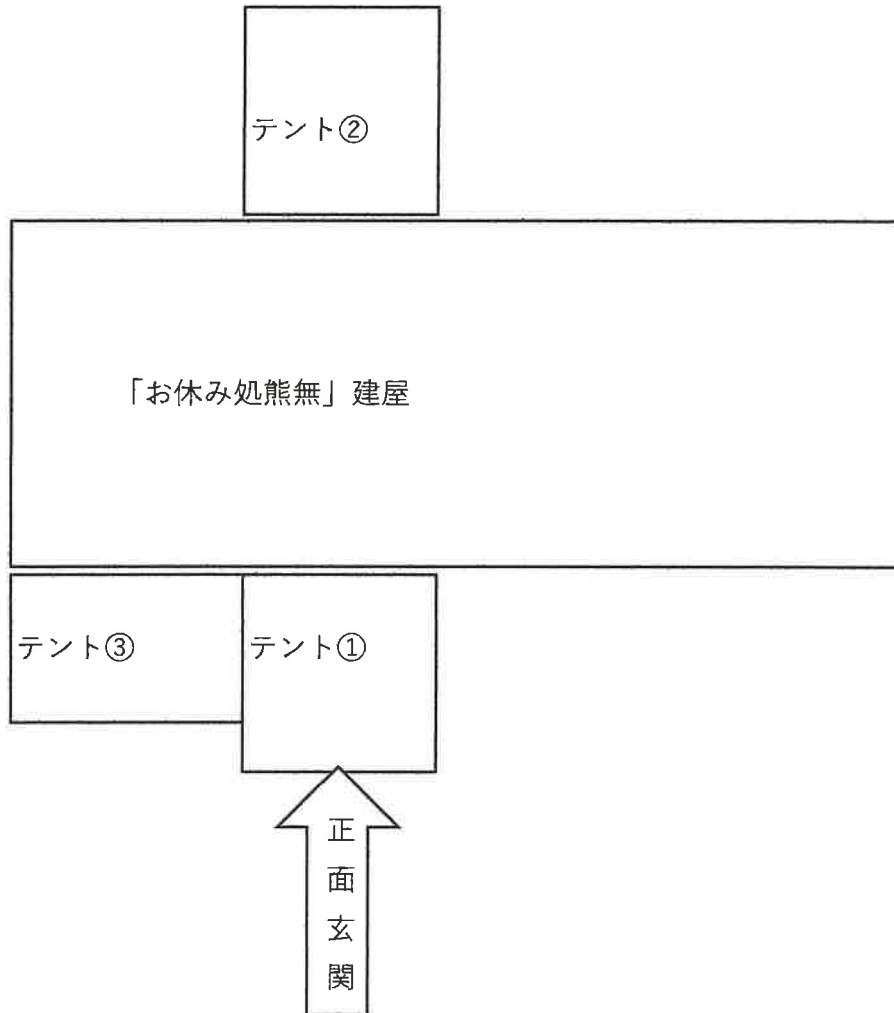
対策案②：テントを設営する。

「お休み処熊無」は氷見の情報発信基地の役割を有しておりますので、現状の放置は外部に対して氷見を誤った形で情報発信することになります。

これは現状放置は許されない状態です。早期の解決を要望します。



3. 「お休み処熊無」概略図



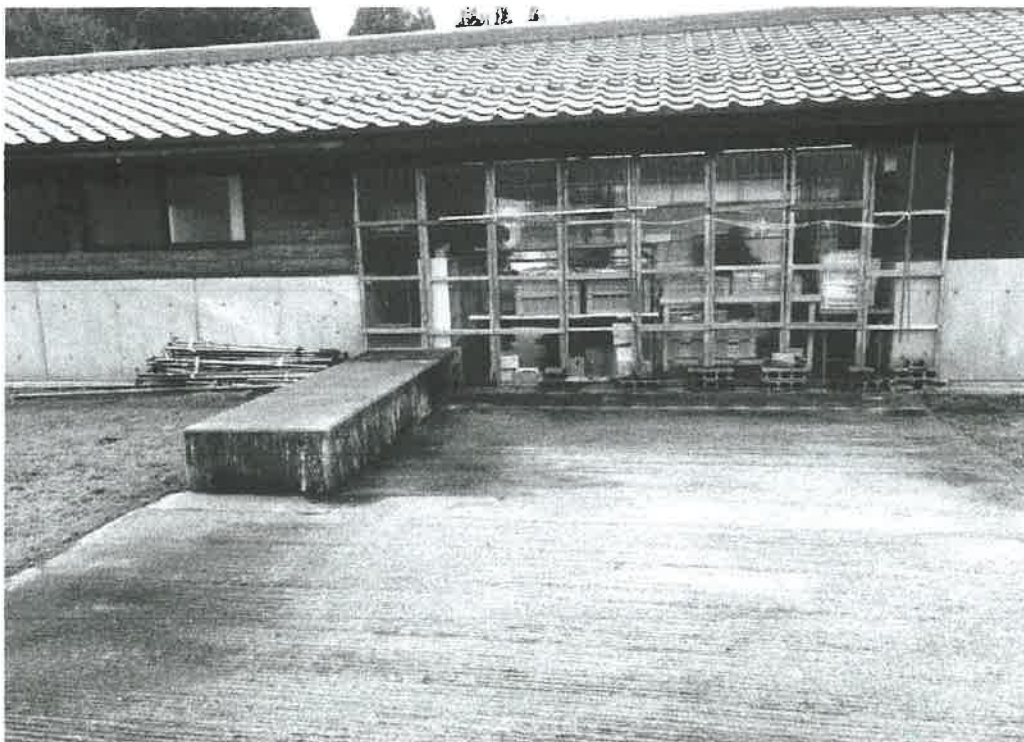
4. 現状の画像

1) テント①の設置場所



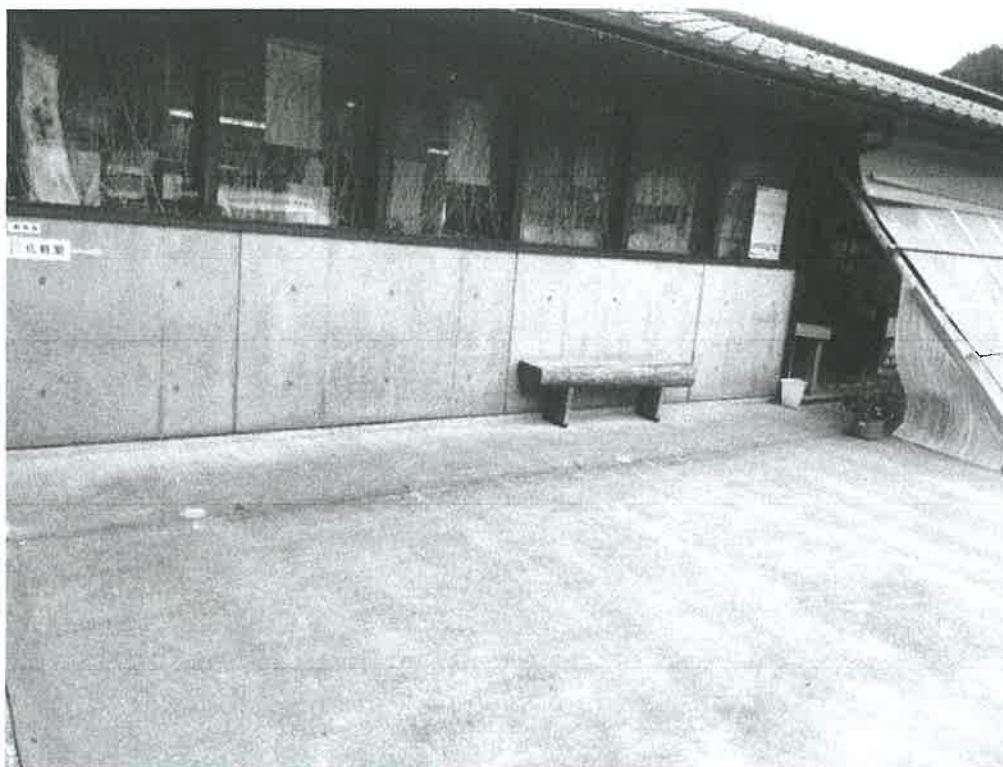
← テント内に地元特産品を展示していたが波板で代用、正面玄関として見苦しい。

2) テント②の設置場所



↑立ち寄り客はテント内のテーブル席で好眺望の山林を眺めながら休憩
現在は仮閉鎖で見苦しい状態

3) テント③の設置場所



↑駐車場・正面玄関に隣接しているので利用頻度が高いテントの設置場所